

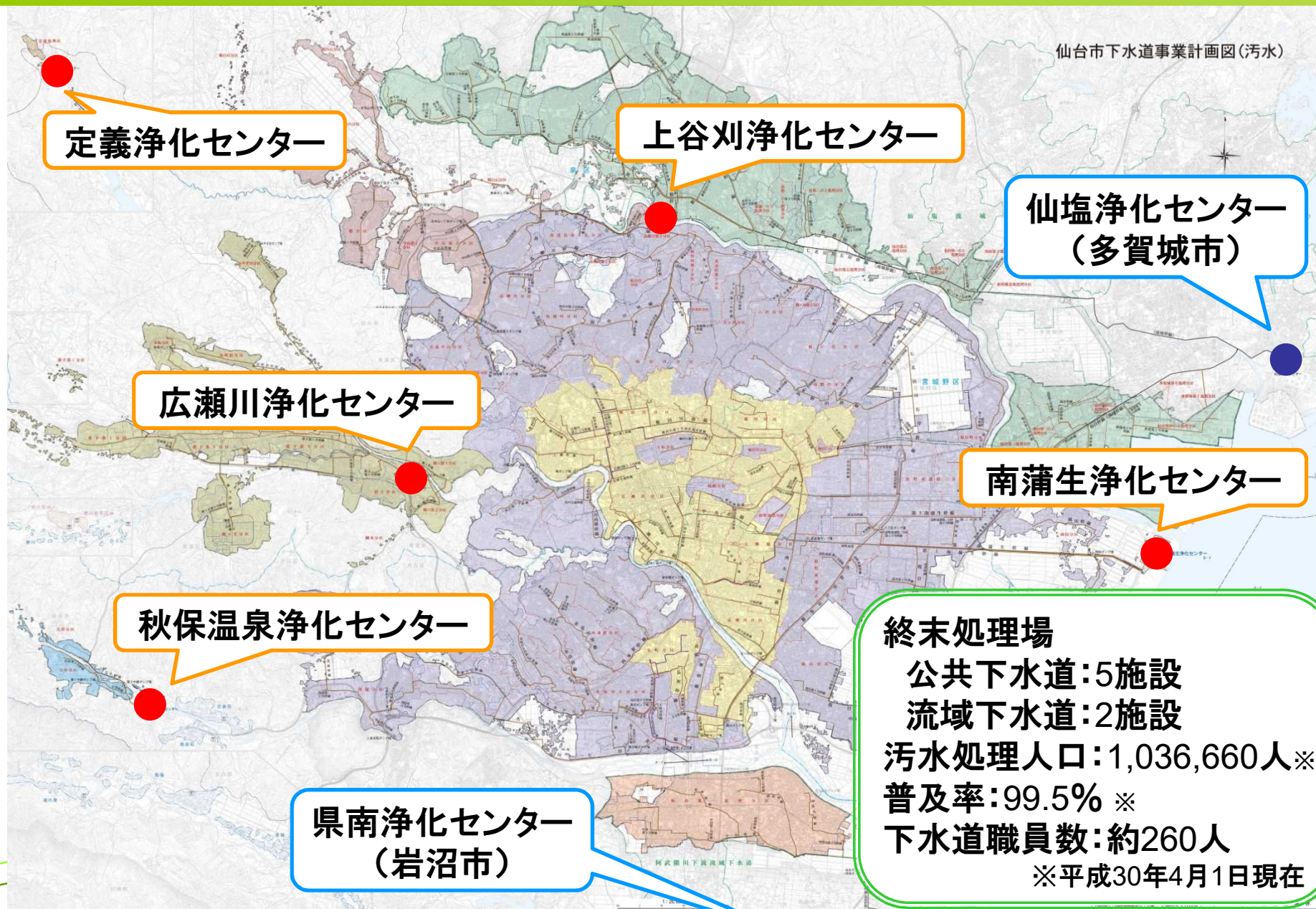


煉瓦下水道場の取り組みについて



仙台市下水道経営部業務課
水質管理センター 小笠原敦生

仙台市の下水道について



開催理由

課題

- ・経験豊富な職員の退職
- ・震災による業務量増加のため、ベテラン・中堅職員が若手職員に技術を継承する時間が限られた
- ・若手職員の学び、技術継承、情報を得る機会が十分でない

「明日の下水道人」の育成

組織の枠を越えた若手職員の
自己研鑽・切磋琢磨の場

煉瓦下水道場の設立

煉瓦下水道場とは

名前の由来

下水道場



仙台市
煉瓦下水道

煉瓦下水道のように長く
一線で活躍できるように



仙台市煉瓦下水道
(土木学会選奨土木遺産)

杜の都れんが下水洞窟

杜の都 れんが 下水洞窟



見学会のご案内

「杜の都れんが下水洞窟」とは

仙台市中心部にある築 100 年以上の歴史的建造物

仙台市内には、明治 30 年代に築造され、いまでも現役で使用されている煉瓦造りの下水道管が 3 ヶ所残っています。これらの下水道は、その歴史的価値が評価され、平成 22 年度に土木学会選奨土木遺産に認定されました。その中の 1 つを多くの方に見学していただけるよう、「杜の都れんが下水洞窟」として平成 28 年 11 月から一般公開しています。

映画「ゴールデンスランパー」のロケ地

「杜の都れんが下水洞窟」で見学できる下水道管は、仙台市在住の作家、伊坂 幸太郎氏原作の映画「ゴールデンスランパー」（平成 22 年 1 月公開）のクライマックスシーンのロケ地としても知られています。

地下 8 m の下水道管の中へ

見学会では、ヘッドライト付のヘルメットをかぶり、地下 8 m までらせん階段を降り、煉瓦造りの下水道管の中へ実際に入ることができます。また、いつでも地上の天窓からのぞくことができます。



見学会の申込方法や注意事項については裏面をご覧ください。



※見学会では安全のため、見学範囲が制限されます。

見学会について

1.開催日

概ね月に 4 日（基本的には金曜日および土曜日開催。ただし、祝日や西公園のイベントの開催状況等に応じて変更あり）。

開始時間：①13 時 30 分～②14 時～③14 時 30 分～④15 時～ 【所要時間：30 分程度】

仙台市ホームページ（「杜の都れんが下水洞窟」で検索）に前月中旬頃に掲載する情報をご覧ください。下記の担当課まで電話にてお問い合わせください。

2.申し込み方法

- ① ホームページ
仙台市ホームページの「杜の都れんが下水洞窟」見学会のページにある『みやぎ電子申請システム』からお申し込みください。
- ② 電話
仙台市建設局経営企画課までお電話ください。（電話番号：022-214-8812、受付時間：平日 9 時～12 時、13 時～17 時）



煉瓦下水道入口

煉瓦下水道内部（広瀬川方面）

煉瓦下水道上部（地上）に設置した天窓

注意事項

- ・ 地下施設への入場は、8 メートルのらせん階段を自力で上り下りできる方に限ります。
- ・ 小さい子どもをおんぶや抱っこをして、地下施設内に入ることはできません。
- ・ 暗い所、狭い所、高い所が苦手な方や、臭いや汚れに敏感な方にはおすすめできません。
- ・ 悪天候の場合には、見学の中止や見学範囲の制限を行います。
- ・ 安全確保のため、案内職員の指示には従ってください。



※駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用ください。
地下鉄東西線大町西公園駅から徒歩約 8 分
地下鉄南北線勾当台公園駅から徒歩約 10 分

担当課
仙台市建設局経営企画課
電話 02-214-8812
E-mail ken010020@city.sendai.jp

煉瓦下水道場における活動

- 平成26年度設立(令和元年度六期目)
- 開催頻度:1~2ヶ月に一度
- のべ活動回数:42回(令和2年1月31日現在)
- のべ門下生数:55名(令和2年1月31日現在)
- 主な活動内容:施設見学、業務体験、業務発表、先輩に聞く、ワークショップ、パンフレット作成・・・等
- 活動時の目標:見学はしない、日常業務を実体験する
自ら考え、議論し、発表する
組織、職種を越えたネットワークを構築する



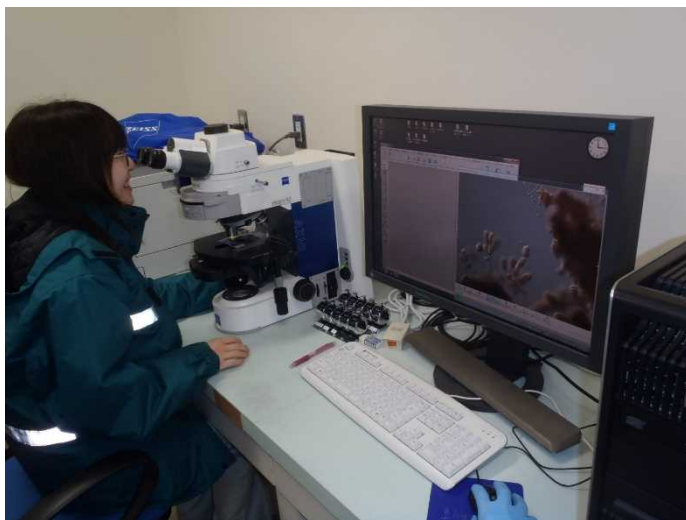
活動内容例～浄化センター見学&業務体験～



反応タンクでの採水



最終沈殿池の点検



活性汚泥の顕微鏡観察



放流水の残塩測定

活動内容例～下水道管理センター業務体験～



人孔周辺割れ、窪み修繕



取付管カメラ調査



公共柵蓋の設置、修繕



街渠柵内清掃

活動内容例～発表等～



課題分析ワークショップ



デザインマンホール市長プレゼン



セミナーでの業務紹介



業務発表会

開催後の効果・参加者の声

- 他部署の人とつながりが持てた
- 他部署の業務内容を知ることができた
- 下水道における視野が広がった
- 維持管理業務の大変さや重要性を学んだ
- プレゼン力が向上した
- 局長と決起集会ができるとは思わなかった



開催の苦勞

事務局

- ・下水道場のメイン担当部署はなく、事務局は有志による



通常業務＋下水道場業務 **負担増**

- ・門下生の実施したい内容を踏まえた上での開催内容決定

門下生

- ・各職員が通常業務を抱えている中での開催
- ・若手職員が対象だが一年目の職員の参加も多く仕事を覚えることで手一杯

開催後の反省点&今後の展望

- 下水道場への参加は上司からの推薦で参加する職員も多い

⇒ 各職員の自発的な参加が理想

- 毎年似たような活動が多くなっている

⇒ 門下生の希望も尊重しつつ新しい取り組みも

- 事務局主体の運営

⇒ 門下生による自主的な運営

自主性を保ち、
煉瓦下水道場の活動を継続していく

ご静聴ありがとうございました。

